

＜一般社団法人 佐賀県作業療法士会 理事運営会議 議事録＞

日時：平成 29 年 1 月 17 日（火）19：00～21：00

場所：アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター 4 階研修室 （佐賀県佐賀市天神 3-2-11）

出席：倉富、山口、小池、江渡、中倉、熊谷、藤原、寺崎、村岡、野崎、鶴田、松尾、本山、石原、堀（15 名）

I. 報告事項

1. OT 協会関連

1) 第 4 回 47 都道府県委員会

- ・ H29. 1. 28～29 東京で開催
倉富会長、熊谷事務局長が出席

2) 介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会

- ・ H29. 2. 26 東京で開催
山口副会長、熊谷事務局長が出席

3) 第 59 回作業療法全国研修会

- ・ H29. 2. 4～5 熊本で開催

2. 九州士会長会関連

1) 第 3 回九州地区作業療法士会士会長会議

- ・ 日時：平成 29 年 1 月 21 日（土） 13：00～16：00
- ・ 会場：九州保健福祉大学 （延岡市吉野町 1 7 1 4-1）
出席者：倉富会長
- ・ 議題：①九州 PT・OT 合同学会関連報告 ②九州作業療法士会長会主催「合同研修会」企画報告
③平成 29 年度事業予定 ④九州士会長会主催の学会（仮称）⑤その他

2) 九州支部事務局長会議

- ・ 日時：平成 29 年 1 月 21 日（土） 13：00～16：00
- ・ 会場：九州保健福祉大学 （延岡市吉野町 1 7 1 4-1）
- ・ 出席者：熊谷事務局長

3) 九州県士会長主催研修会

- ・ 日時：平成 29 年 1 月 21 日（土） ・ 22 日（日）
- ・ 会場：九州保健福祉大学 （延岡市吉野町 1 7 1 4-1）
- ・ 派遣予定者：堀 恭介 会員（緑生館）
- ・ 研修会担当：植村 雄磨 会員（学術部員）

3. 県士会関連

1) 佐賀リハビリテーション 3 団体協議会

- ・ 平成 29 年 1 月 14 日 設立記念式典及び祝賀会開催

2) 佐賀県在宅生活サポートセンター関連

- ・ 新築移転 3 月 15 日 管理者へ鍵渡し予定
3 月 22 日～24 日 休館、引っ越し（22 日は業者が入り全体引っ越し予定）

3月25日 オープン 記念式典 詳細は未定

3) 在宅医療・介護連携推進委員会

・平成29年1月31日 18:30~20:00 佐賀県医師会メディカルセンターで開催

倉富会長・山口副会長出席

・議題：在宅医療介護連携推進（研修会を含む）について

4) 障害者スポーツ関係

・障害者スポーツの推進のために佐賀県スポーツ課 堤氏、佐賀県障がい者スポーツ協会 山口氏と協議

・アンケート調査実施：精神科病院協会へ依頼し、21施設から回答→作業所等へは小松会員へ依頼中

5) 精神科事例検討会

・ぷらっと（相談支援事業所・地域活動支援センター）所長より「事例検討会を開催するので OT 士会会員へ案内を回してほしい。3月で日程が決まれば、お知らせする。」とのこと

II. 協議事項

1. 九州士会長関連

1) 九州士会長会関連

・九州士会長会主催の学会（資料1参照）

・佐賀県としての意見

2) 九州士会長会会長県

・平成29~30年度の2年間佐賀県が担当県となる

・事務局をどこにするか→庶務部へ

2. 県士会関連

1) 平成29年度 事業計画

・各部局からの説明

・予算案作成

2) 佐賀県在宅生活サポートセンター関連

・新築移転後への対応：特にシーティングルーム、テクノエイドルームの実施体制を確保

→現在部員が約30名いる。いつ誰がいくのか調整中

3) その他

・佐賀中部広域連合より住宅改修の講師派遣依頼（2月21日）

→中倉教育部長派遣

III. 各部局からの報告および検討・審議事項

1. 学術局（江渡学術局長より報告）

・1月28日 学術局（学術部・教育部）会議 場所：唐津医療福祉センター

・各部局は士会長裁量ポイント申請者を2月中までに提出すること

2. 学術部（江渡学術局長より報告）

1) 学術研修会関連

- ・第 59 回:テーマ「認知症初期集中支援」

日にち:平成 29 年 2 月 26 日 場所:武雄市文化会館 講師:山口 智晴先生(群馬大学)

- ・来年度研修会仮テーマとして、①OT として知っておくべきリハ栄養②循環器系の作業療法③高次脳機能障害の作業療法④精神科領域の認知リハビリテーションを計画中

3. 教育部(中倉教育部長より報告)

- ・生涯教育推進会議 10 月 15.16 日(東京)参加

→事例登録制度において基礎研修終了者は HP で公表していく方向

現職者選択研修などは e ラーニングなどを利用し受講しやすいものとする。認定作業療法士の共通研修などは今後士会のブロック単位で実施し、受講者を促していく方向で考えている

4. 事務局(熊谷事務局長より報告)

1) 会員状況(2017.1.17 現在)

- ・県士会 会員数:542 名

※会員へ案内を郵送する際は最新の情報を利用するために事務局(熊谷)へメールで問い合わせする

2) 県士会の連絡体制の整備について

現在、所属施設代表者を宛てに郵送にて各施設のアドレスを把握している。その後メールリストを作成する予定

3) 会員管理について

- ・平成 29 年度休会届け提出の会員が 1 名いる。規定に則り処理していく。3 月の理事会時に審議

- ・県士会の退会に関わる件。退会届を提出せずに他県士会に異動されている会員がいる

今後の対応:まずは、退会届の提出を促していく。退会届を未提出の会員に対して督促状が送られるケースがある。その際の対応としては、佐賀県に所属していた期間に関しては会費の納入をお願いするようにしたいがいかがか?→承認

4) 九州士会長会事務局会議参加:1 月 21 日(土)

- ・マイナンバーの対応、各部局活動の際の保険について、佐賀ではどう対応しているのかお聞きしたい

5) その他(事務局への問い合わせ)

- ・督促状に関して、退会届を提出したのに督促が来た

- ・エキスパート研修の協力依頼があり、参加の回答をしたが、その後連絡がなく不満に思っている。

- ・部局によって郵送物が届いたり届かなかったりがある

→財務部とも連携をとりながら連絡体制の整備に努め、最新情報の利用と連絡を徹底していく

6. 庶務部(堀より報告)

- ・平成 28 年度士会接続システム講習会(資料 2 参照)

日時:12 月 10 日 13:00~17:00

場所:TKP 神田駅前ビジネスセンター

参加者:47 都道府県各士会担当窓口、協会統計情報委員会、協会事務局

内容:①個人情報の取り扱いについて

- ・平成 27 年 9 月個人情報保護法改正内容説明

- ②士会接続システム事業経緯

- ・2002年よりシステム導入を行い、協会と士会との情報ネットワーク構築に着手。2016年に青森・富山・愛知・広島・鹿児島県が加わり、ようやく全ての士会がシステムの導入を行っている
- ③現在の運用システムの課題と対応策の検討
- ・県士会のみ入会している会員と協会のみ加入している会員が混在している事で、会員管理システムの運用が二度手間となり、業務が煩雑になっている事が課題
 - ・現在、各士会の定款上「協会員＝士会員」となっている法人は18士会
- ④5年後までには、協会員＝士会員として整理していきたい
- ・県士会の定款において「協会の趣旨に基づき、当士会に賛同頂ける者～」等の文言を入れるなど対応をお願いしたい
- ⑤今後の運用による課題と説明
- ・士会のシステム情報が古いまま更新されていない会員も多く、県士会単位で最新の情報への更新を呼びかけしてもらいたい
 - ・各都道府県の意見も踏まえた上でシステムの大規模なバージョンアップを考えている。今後、1月の47委員会で説明し、了解を得ていく方向としている

7. 事業部（寺崎事業部長より報告）

福祉用具相談支援システムについて（資料3参照）

- ・平成28年度 福祉用具相談支援システム運用事業 合同連絡会報告

日時：平成28年12月10日（土）

場所：FUKURASIA 東京ステーション 6A 会議室

内容：・介護保険改定に向けた審議が進み、福祉用具に対する決定事案も挙がってきた

- ・貸与サービスにおける外れ値が多く、価格上限が設定される。作業療法士として地域包括ケアなど今後の社会性の中でどのように動いていくべきか、このシステムが有効に利用されるように進めていく
- ・各都道府県の意見交換

→県内会員の状況として福祉用具や住宅改修に関する関心が低い傾向にあるのではないかと。所属施設内での相談のみに留まらず、全国のADVと情報交換できるツールとして本システムの広報が更に必要。そのためにも、県ADVの存在を明確にし、意見交換の場を設ける事が優先か。他県にないサポートセンター運営という特色を活かしつつ、本システムに佐賀県士会も更に参加していく

8. 福利部（村岡福利部長より報告）

- ・特になし

9. 東西松浦地区（本山部長より報告）

- ・県学会を6月25日で調整中

テーマ：「暮らしに寄り添う作業療法の力を形へ」

講演内容等調整中

- ・唐津地区を4地区に分け1月からの地域ケア会議へ4名選出している

10. 鳥栖三神地区（松尾部長より報告）

- ・1月10日「地域ケア会議情報交換会」実施

11. 杵藤地区（鶴田部長より報告）

- ・学会の査読を依頼中
12. 佐城地区（野崎部長より報告）
- ・1月24日「地域ケア会議情報交換会」予定
13. 県士会員のエキスパート育成事業
- 1) シーティング研修（江渡学術局長より報告）
 - ・3月11日会議予定
 - 2) 地域包括ケアシステム（山口副会長より報告）
 - ・地域ケア会議情報交換会を引き続き継続していく
 - 運営の人員をリストアップし、3月までに各地区担当理事と2～3名の代表者で内容の検討をしていく
 - 3) 福祉用具エキスパート事業
 - ・現在県士会員のうち、38名が参加中 →4班に分け（介護ロボット・シーティング・サポートセンター展示選定・リハ工房）、土曜日半日（月に1～2回）交代で活動していく
14. 佐賀県リハビリテーション3団体事業について（山口副会長より報告）
- ・介護予防推進リーダー人材育成研修会
 - 日にち：平成29年2月4、5日
 - 内容：介護予防に資する人材育成研修、シンポジウム「実際の介護予防における取り組み」など
15. 特別支援教育について
- ・佐賀県LD・ADHD等教育研究会研修会（県士会より講師派遣）
 - 40名前後の参加。対象者の特徴や指導方法、体験実技などを実施。来年度8月にも派遣依頼あり
 - ・特別支援教育についての相談窓口を県士会事務局内に設置する
16. 在宅生活サポートセンター（石原運営委員長より報告）
- ・3月25日 オープンするが、駐車場を旧建物跡地に作るため当分駐車スペースが限られる
17. 高次脳機能障害相談支援事業（松尾地区担当理事より報告）
- ・奇数月の第4日曜日でレクリエーション等行いながら相談を受ける協力スタッフを募集している。アンケート等を利用して会員に伝えていく
 - ・神経心理学的検査に関する研修会を学術部と計画中
18. 認知症作業療法推進委員会会議について（小池副会長より報告）（資料3参照）
- 日時：平成28年11月19日～20日
- 場所：TKP 新橋内幸町ビジネスセンター
- 内容：認知症施策の現状、認知症作業療法推進に関する協会の取り組み、課題と解決策および情報交換、
→引き続き認知症領域に関する作業療法活動を啓発していく。他県では図書館などの施設を利用することで、参加者が抵抗なく集いやすくなった事例もあり参考にしていく。今後、具体的事例などを集積していく事も必要

以上

（文責：堀 恭介）